

**答** クラスターを防ぐ、高齢者のいのちを守る、そこに働く人々を支える意味では、市も方策があると思う。県と協調し組み立てていく。

**問** 雇用危機により、非正規労働者やシングルマザー等が更なる生活困窮に追い込まれている。女性自殺者が増えている。当市では、コロナの影響での生活保護申請は少ないとの

数全国平均41・9人に対し、草加保健所はわずか1.8人とのこと。市として、県に対し保健師の増員を求めるべき。

**答** 県と保健所業務の実施に関する協定を締結しており、要請に応じ保健所業務に従事できる体制を構築している。必死で働く保健師をいかに支えるか、県と協同していく。

**未来会議**

よしかわ

戸田 馨



**◆教育において最も大事な視点は**

**問** 子供達への「教育に」において、まず、子供達が根本に持つべきものをしっかりと理解させること、その上で「自走する力」が重要であると考ええる。そうしたことを踏まえて、ICT導入にあたりこれからの教育に臨むことは。また、グローバル化、人工知能技術の進化など変化の激しい時代において、子供達は何を学び、どのような力を持つことが必要か。

**答** 激しい変化は常に起こっている。それがコロナ禍で顕在化した。子供達はそうした時代の変化に大人よりも柔軟に対応している。

タブレットに関しても、小さな子供でも上手に使いこなしている。そうした事を踏まえての「教育とは」と言えば、一番は「生きていくための力を身につけること」であり、そのために一番必要な力は「体力」だと考える。体を鍛える、そして食べ物にしっかりと意識を配る、この二つが教育の一番最初だと考える。高齢者の課題でも「運動」と「食」が問題となり、そこが生きていく上で原点である。その次に「人」として何が正しいのかを探求し判断できる力Ⅱ学力」、そして大事なものはそれを「実現する力Ⅱ非認知能力」であり、それらの力が教育の中で子供達に備わることが重要と考える。

**公明党**

吉川市議団

小野 潔



△商品券の発行、タブレット端末の整備等を行ってきた。市民には感染拡大への不安と行動の制限が続く疲弊感が漂う。事業者も制約の中で影響を受けている。課題は、市民の生命を守り社会・経済活動との両立を図ること。

**問** 「ワクチン接種体制」づくりと接種率向上策。医師会との調整は

な生活様式や多様な働き方等、これまでと異なる社会・経済状況を的確に捉え、SDGsの視点で未来を見据えた計画づくりに取り組む。

また、吉川美南駅東口周辺開発事業ではライフスタイルの変化や企業の動向を注視しながら、引き続き計画を進める。

**問** ①今後の感染症予防対策、ワクチン接種への所見は。②「第6次総合振興計画」「吉川市都市計画マスタープラン」の改定、「吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定、「吉川市環境保全指針」の改定、「環境行動計画」の策定、「文化芸術にかかわる条例整備」「SDGsとの関連性も意識した計画」と策定目白押しの一年、所見を。③流域治水の考え方は。④「小学校全学年35人学級への移行を段階的に進めていく」とは。⑤「コミュニティスクール」の段階的導入とは。⑥LGBT「パートナーシップ認証制度」の導入の考

**答** ①市民の命と暮らしを最優先で守る。②将来目指すべき姿と理念を共有し持続可能なまちづくりを進める。③流域の各自治体と協力し治水安全度を図る。④令和3年度は第3学年、以降1年毎に1学年ずつ実施し令和6年度に全小学校実施を目指す。⑤本年度は吉川中学校区(中曽根小、美南小、吉川中)でその後全中学校区へ。⑥丁寧検討していく。⑦障がい者の就労、グループホーム支援へ役立てたい。現寄付金1800万円をスタートとする。⑧生産性を上げていくにはこの方法しかないと考えている。